

## 当社取締役会(2017年度)の実効性に関する評価結果の概要

日立化成株式会社

当社は、当社グループで共有する理念、価値の体系である「日立化成グループ・アイデンティティ」のもと、持続的な成長と企業価値の向上のため、2015年11月に「日立化成コーポレートガバナンス・ガイドライン」(以下「ガイドライン」といいます。)を制定、公表いたしました。

ガイドラインにおいては、取締役会の役割・責務等について規定したうえで、取締役会の実効性に関する評価(以下「実効性評価」といいます。)を毎年取締役会が行い、その結果の概要を開示することとしております。

例年通り、本年も2017年6月開催の株主総会で選任された取締役で構成される取締役会について実効性評価を実施しました。このたび、その結果がまとまりましたので、以下のとおりその概要をご報告いたします。

### 1. 実施内容

以下の要領でアンケート及びインタビューを実施した。

#### (1) 対象者

①アンケート対象者：全取締役(11名)

②インタビュー対象者：取締役7名(議長1名、社外取締役5名、取締役兼執行役社長1名)

#### (2) 実施期間

2018年2月～2018年3月

#### (3) 概要

外部アドバイザー協力のもと、全取締役11名を対象として、従来通りのアンケート形式による自己評価を実施。その後、アンケート結果に基づき、取締役7名(議長1名、社外取締役5名、取締役兼執行役社長1名)を対象としたインタビューを実施。それらの回答内容に関する分析結果をもとに2018年5月の取締役会において議論を行った。

#### (4) 設問の構成

##### ① アンケート

「取締役会の構成と運営」、「経営戦略と事業戦略」、「企業倫理とリスク管理」、「業績モニタリングと執行役の評価・報酬等」、「株主等との対話」の категорияに分けて、その中の設問毎に自己評価(3段階評価の選択式)を行うとともに、その評価理由や改善策などを記入する形式。

なお、設問数については、昨年度の設問に加え、「取締役会議長の役割」等の3問を追加して全21問で実施。

##### ② インタビュー

アンケートに記載された評価理由や改善策に基づき、そのコメントの背景や根拠等について、外部アドバイザーによる60分程度の個別インタビューを実施。

## 2. 評価の結果

- (1) アンケートの結果は、実効性に対する肯定的評価が過半(61%)を占め、否定的評価は若干(7%)であることから、取締役会の実効性は概ね確保出来ていると判断している。(前年評価(そう思う(55%)、そう思わない(11%))からも改善)
- (2) インタビューの結果、「中長期経営戦略の方向性を踏まえた取締役会構成の在り方」、「事業部プロフィット体制における事業運営及びカバナンスに対するモニタリング強化」、「監査委員会における更なる実効性の高い監査活動の実施」が、今後の対処すべき重点課題であることが明確になった。

以上により、当社取締役会は、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上に向け、ガイドラインに定める役割・責務を果たしていることを確認するとともに、実効性に関しては2017年度も「おおむね有効であった」と評価いたします。

## 3. 実効性向上に向けた取り組み

実効性評価を実施した結果、取締役より実効性を高めるための課題と対応策等の建設的な意見が多数出されました。

当社としましては、取締役から出された建設的な意見を参考に、ガイドラインの改訂等を通じて、取締役会の運営方法、取締役会の経営監督機能及び意思決定機能の実効性を確保し、引続き機動力、客観性及び透明性の高い経営を実践してまいります。

以 上